



中学生医療現場体験事業を実施しました！

8月21日(火)に市内の2病院（松ヶ丘病院、益田赤十字病院）において、中学生医療現場体験を実施しました。この事業は、医療現場の体験を通して、かけがえのない自他の命を尊重する心を育て、医療への理解を深めてもらうことを目的としています。そして、将来の医療従事者を目指す若者の育成となることも期待して、平成22年度から実施しています。



今年度は、市内2中学校の生徒9名が参加し、それぞれ自分の興味のある職種について興味深く取り組んでいました。

松ヶ丘病院では、作業療法士を希望する生徒が、患者さんとの交流や施設の見学を行いました。益田赤十字病院では、医師希望と看護師希望に分かれて、救急外来の見学や、病棟を回って患者さんの血圧測定などを行いました。



市長と石見高等看護学院生との意見交換会を開催しました！

8月23日(木)に、益田市から県立石見高等看護学院に地域推薦で入学した学生と市長との意見交換会を開催しました。現在、15名（3年生5名、2年生5名、1年生5名）の学生が在学しており、当日はそのうち14名が参加しました。今年の新入生で地域推薦での入学者が11期生となり、意見交換会も11回目となります。今回も、地域推薦の先輩看護師4名が多忙な勤務を調整して参加しました。

会では学生と先輩看護師がそれぞれ自己紹介と近況報告を行なった後、市長、学生、先輩看護師の間で質問や意見が交わされました。先輩看護師から国家試験や実習について受けた助言を、今後の学生生活、そして将来に活かしてほしいと思います。



『救急の日』市民啓発街頭活動を実施しました！

9月11日(火)に『救急の日』に対する街頭活動を行いました。『救急の日』は救急業務と救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に9月9日に制定され、この日を含む1週間（今年は9月9日から9月15日）は救急医療週間とされています。

当日は市内3病院（益田赤十字病院・益田地域医療センター医師会病院・松ヶ丘病院）の職員をはじめ、関係者（市議会議員・益田の医療を守る市民の会会員・益田保健所職員・消防署職員・市職員）28名とともに、市内の大型商業施設3店舗の出入口で『救急の日』の啓発チラシとばんそうこう等を約600人に手渡しました。

